



住所 〒547-0003 大阪市平野区加美南 1-9-17

連絡先 ☎ 06-6791-2237 📠 06-6791-2163

校長 安田 信彦 開校 昭和 19 年

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e751726>**教育目標**

人間性豊かで実践力のある子どもを育てる

重点目標(校訓)

「強く 正しく 明るい子」

運営に関する計画**【概要】**子どもたちが安心・安全に学習できるようにします。子どもたちの学力・体力を伸ばします。**【年度目標】****【安心・安全な教育の実現】**

- ・令和6年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を73.7%以上にする。
- ・令和6年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。
令和5年度：1.11%
- ・令和6年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目に対して肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。
- ・令和6年度の学校児童アンケートにおける「仲の良い友だちがいる」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を94.9%以上にする。
- ・令和6年度の学校保護者アンケートにおける「子どもたちは、自分からあいさつができていますか」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を93.8%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和6年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を39.5%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83.1%以上にする。

- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を69.8%以上にする。
- ・令和6年度の学校児童アンケートにおける「授業はわかりやすい」の項目に対して、肯定的回答をする児童の割合を90.1%以上にする。
- ・令和6年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、前年度よりも向上させる。
令和5年度：男子 48.27、女子 53.97

【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数を年間50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]
- ・第2期「学校における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準Ⅰを満たす教職員の割合を91.67%以上にする。
- ・令和6年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を80%以上にする。
- ・令和6年度の学校保護者アンケートにおける「学校のできごとを学校だより、学年だより、学校ホームページなどで伝えている」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を96.8%以上にする。

校長先生からのメッセージ**校訓「強く 正しく 明るい子」****学校教育目標「人間性豊かな実践力のある子どもを育てる」**

本校は、昭和19年(1944年)4月に開校し、今年で創立80周年を迎えます。現在は、353名の子どもたちが在籍し、元気にのびのびと学校生活を送っています。子どもたちが、健やかに成長するためには、「あいさつができる」「時間を守ることができる」

「ルール(きまり)を守ることができる」「話をしっかり聞くことができる」「正しい言葉づかいができる」「友だち(仲間)を大切にすることができる」など、学校生活の基本、あらゆる教育活動の基盤(土台)を身につけることが大切です。その上で、子どもたちの“自尊感情”を高め、豊かに自己表現ができる人材の育成をめざしていきたく思います。教職員一同、子どもたちのために全力で教育活動に取り組んでいきます。

校長 安田 信彦

R5年度「全国学力・学習状況調査」

国語	算数	平均正答率(%)
63	60	

●結果と概要／

本校の平均正答率は、大阪府平均に比べ国語が▲3ポイント、算数が▲2ポイント低い。全国平均と比べては、国語が▲4.2ポイント、算数が▲2.5ポイント下回ってしまっている。平均無解答率は、大阪府平均に比べ国語は△2.3ポイント、算数は△1.4ポイント上回っている。全国平均と比べても、国語は△2ポイント、算数は△1.3ポイント上回っている。国語は14問中、7問が無解答0%、算数は16問中、6問が無解答0%だった。このデータからは、子どもたちのほとんどが問題に対して真摯に取り組み、解答を導こうとしていることがわかる。学習指導要領の内容別に見てみると、平均正答率(国語科)では「読むこと」が大阪府よりも0.1ポイント高く、

平均正答率(算数科)では「変化と関係」が大阪府・全国よりも約1ポイント上回っている。

●取組の成果と課題／

〔国語〕

平均正答率を大阪府・全国と比べて、学習指導要領の領域別に見ると思考力、判断力、表現力等「C読むこと」については、そこまで大きな差は見られない。「B書くこと」は、大阪府・全国よりも▲4～9ポイント低い。問題形式では、短答式の問題で▲5ポイント低い。

〔算数〕

平均正答率を大阪府・全国と比べて、学習指導要領の領域別に見ると「A数と計算」「B図形」「Dデータの活用」と4領域中3領域が低い。問題形式では、記述式の問題で▲約3ポイント低い。

過去3年のデータと比べると、着々と今年度はポイント改善が見られる。

R5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	合計 得点(点)
男子	14.10	18.80	42.60	37.60	43.20	9.71	142.00	19.40	48.27
女子	15.40	19.50	36.20	38.70	38.60	9.80	142.70	14.20	53.97

●結果と概要／

・体力合計点では、男子が大阪市▼2.86、全国▼4.32 低く、女子は大阪市△1.3 高く、全国▼0.31 低かった。男子は、大阪市・全国と比較して下回っている。女子については、大阪市や全国とそこまで大きな差がないことがわかった。(▼下回っている、△上回っている)

・質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の肯定的回答では、男子 88.9%・女子 82.3%と体を動かすことが好きな児童が多い。

・1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒は、男子は(全国9%、大阪市10.5%、学校11.1%)女子は(全国16.3%、大阪市18.2%、学校18.2%)となっているが、その内訳で全く運動をしない「0分」という児童の割合が高いことが気になった。

●取組の成果と課題／

○成果として、今年度から新たな取組「かけあし週間」や「なわとび週間」「なわとびチャレンジ」を企画・実施した。運動する機会を数多く与えることで、年間を通して継続的に意欲をもって

運動に取り組んでくれた。また、例年実施している「ドッジボール大会」を低学年(1・2年生混成チーム)中学年(3・4年生混成チーム)高学年(5・6年生混成チーム)で対戦を行うように変更した。このことで、上級学年が勝ちやすい下の学年の不満を持つようなことがなく【運動することが楽しい。違う学年の友だちと協力して戦えた】といった運動に対するプラスのイメージの感想を述べる子が多くなった。その他には、昨年度から秋の全校遠足を久宝寺緑地と設定し、ペア学年で身体を動かす遊びを行うようにした。全校遠足の行き帰りをすべて徒歩にすることで約30分間の運動を行えた。6年生の卒業遠足でも、大阪市立クラフトパークに徒歩で向かうように変更した。こちらも本校からは約30分かかるため適度な運動となった。

○課題では、家庭で運動をしない子の割合の高さをどう改善するかだを考える。次年度に向けて、地域・PTAとともに家庭での運動の大切さを伝え、講演会や地域スポーツの普及・啓発を行っていきたい。

学校の特徴

学習活動



令和2年度から、「書く力」の育成をめざし、『自らの考えを表現することのできる国語科』の授業づくりに取り組んでいます。

すべての学習の根幹となる、「文章を読み取る力」「豊かに表現する力」を育成することができるよう、指導研究を進めています。

体力づくり

年間を通して運動に親しむ機会を設定し、全校で体力づくりに取り組んでいます。例年、6月からのプール水泳で泳力指導に取り組み、最終日には泳力の測定を行っています。

2学期は、「かけ足」に取り組み、体育科の授業時間や休み時間も体を鍛えます。3学期には、「なわとび」にも取り組みます。個人でいろいろな技をマスターしたり、クラス全員で長なわの新記録に挑戦したりする取組を行います。体力を数値的に向上させるだけでなく、心の成長も伴うように指導しています。



土曜授業

例年、土曜授業では、保護者や地域の方と連携し、「引き渡し訓練」や「防災学習」を行います。

また、授業公開(参観)日として、子どもたちの普段の様子を多くの方に見ていただく機会としています。



たてわり活動

学年が異なる児童の交流を図るため、「ペア学年」や「たてわり班活動」を行っています。低学年から高学年の児童と一緒に活動することにより、高学年児童に責任感が育ち、豊かな情操が養われていきます。毎週木曜日の児童集会では、委員会の児童がさまざまな催しを企画し、全校で楽しんでいます。



